大阪城

2020 11/26 (木) 14121号

全港湾 西成分会

ごえん 6647-4947

イソジンでコロナに勝つ！とか アホなことを言って笑っていた時代はよかったが、今、第3波とか、コロナで大阪が日本一になりそうな勢いである。昔から、結核は大阪が日本一だが、コロナまで金メダルをもらわなくてもいいだろう。都構想ばかりに神経とエネルギーを集中していたので、大阪のコロナ対策は無策に近いのだろう。コロナウイルスが笑っている。

12/1から、新しい医療センターも動き出すとか言っている。地域の医療の中心として、コロナはわかりません！知りません！よそへ行って下さいとか言わずに、ちゃんと役割をはたすことが、皆人なから期待されている。がんばって欲しい。

今年も、あっという間に過ぎ、あと1ヶ月ほど。今宮戎さんは、来年の戎さんには、コロナのため多勢でまとまってこんといてくれ……みたいな広告出したり、今年の年末と新年は、一万分の1ミリほどの微小な物質・ウイルスにひぎづり回されている。身体に気をつけて年末を切り開いていこう。

嘘と犯罪の安倍政治に東京地検特捜部のメス

7年以上にわたって続いた「戦後最長の第二次安倍内閣」が、実は、「嘘に嘘を重ねただけの『虚構内閣』」だったという深刻な疑問が事実として明らかになりそうだ。

毎年「桜を見る会」の前日に都内のホテルで開催された「前夜祭」に関する公選法違反、政治資金規正法違反の疑いについて、関係書類は廃棄して国会答弁でシラを切っていた問題について、東京地検特捜部がホテルの領収書などを抑えて安倍晋三事務所の公設秘書なりの事情聴取を行っている。

悪運のつよい安倍晋三も悪事を覆い隠せないところに追い込まれたことになりました。

しかし問題はここからのようで、「全て秘書がかってにやった」とか、「あとから修正申告して微罪」とか、また「検察となんらかの取引」とかいうことになりかねないところもあります。

しかし国民多数が感じている安倍疑惑はモリトモ・加計・河合夫婦の買収事件だけにとどまらず、きりのないほどもっとあるはずという状態です。

それにしても、自分を守ってくれるはずとして官房長官の菅に首相の座を禅譲したのにこんなに早く「捜査にゴーサイン」を出すということは、「微妙な二人の関係」と言うことかもしれません。